

令和元年台風第19号の被害を踏まえた 北陸新幹線の早期全線整備に係る緊急要請

本年10月の台風19号による長野新幹線車両センター等の浸水の影響により、北陸新幹線においては、長野ー上越妙高間が運休したほか、全線での運行再開後も本数を減らして運行がなされるなど、大きな被害が発生したところであり、一日も早い完全復旧と再発防止策の実施が求められている。

一方、今回の被災からも、北陸新幹線は、大規模災害時等における東海道新幹線の代替補完機能を有した高速交通体系の中軸として、災害に強い強靱な国土づくりや日本海国土軸の形成に必要不可欠であることが改めて明らかになったところである。

このため、一日も早い完全復旧や再発防止策の実施とともに、敦賀開業及び大阪までの全線整備に向け、緊急に次の事項の実現を強く求める。

- 1 浸水した北陸新幹線の車両について、早期に新規製造等を進めるなど、あらゆる手段を講じて、臨時便を含め一日も早い完全復旧に向けた取組みを促進すること。
- 2 完全復旧までの間、特に年末年始等の繁忙期において、東海道新幹線や上越新幹線と在来線特急等を利用した代替ルートへの活用に向けた増便や増両等、航空路線も含め、多様な交通手段により、利用者の利便性の確保に向けた取組みを促進すること。
- 3 今後、北陸新幹線が同様の被害を受けることのないよう、国において適切な治水対策を講ずるほか、徹底した原因の究明を行い、被害軽減のための対応策を含め、再発防止に向けた取組みを促進すること。
- 4 災害に強い強靱な国土づくりや日本海国土軸の形成の観点から、令和4年度末までの敦賀開業が確実に実現するよう整備を促進するとともに、北海道新幹線札幌開業（令和12年度末）頃までに大阪までの全線整備を図ること。

令和元年11月14日

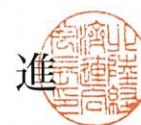
北陸新幹線建設促進同盟会
会長 富山県知事 石井 隆



北陸新幹線建設促進北信越五県議会協議会
会長 富山県議会議長 中川 忠



北陸経済連合会
会長 久 和



公益社団法人 関西経済連合会
会長 松本 正義



関西広域連合
広域連合長 井戸 敏

